

公共事業の品質と担い手の確保

1. はじめに～石川県のご紹介～

石川県は、日本列島のほぼ中央に位置し、南北に細長く、北部の能登半島は三方を日本海に囲まれております。そして、日本三名山の一つである霊峰白山や日本で初めて世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」に代表される豊かな自然に恵まれた地域です。また、日本三名園の一つである兼六園や金沢城公園など加賀百万石の歴史と伝統に裏付けられた街並みや食文化が、今なお色濃く受け継がれています。

さらに、本県は、日本の中心に位置するという地理的特徴により、石川の地を北限・南限とする農作物も存在するなど、多種多様な「食材」がもたらされます。

そして、本県オリジナルぶどう「ルビーロマン」をはじめ、伝統ある加賀野菜や能登の風土に育まれた能登野菜など、他の地域にはない石川ならではの農産物が生まれており、県ではこれらのブランド化を進め、その魅力を全国に発信しているところです。

さて、本県では、今春、県民の長年の悲願でありました北陸新幹線の金沢開業を迎え、首都圏からのアクセスが飛躍的に向上いたしました。NHK連続テレビ小説「まれ」の放映の効果も相

俟って、首都圏はもとより全国各地から、多くの方々に本県へお越しいただいております。県内各地において賑わいを見せているところです。

2. 新たな長期構想の策定

本県では、「個性、交流、安心のふるさとづくり」を基本目標とした「石川県新長期構想」を平成19年3月に策定し、その実現に向け、さまざまな取組みを進めてきたところであります。

しかしながら、近年、本格的な人口減少時代が到来し、地方創生という新たな動きが生まれてきました。また、本県においては、今春、新幹線開業という100年に一度とも言える、大きな節目を迎えたところです。

長期構想の目標年次を迎える今年度、こうした環境の変化に対応し、今後10年間の本県の進むべき方向を指し示す羅針盤として、新たな長期構想の策定を進めているところであり、新幹線開業という他の地域にはない優位性を最大限に活かしつつ、モノづくり企業の集積をはじめとする本県の強みに一層磨きをかけ、石川のさらなる飛躍・発展につなげていくこととしております。

石川県知事 **谷本 正憲**



3. 石川県の社会資本整備

本県では、北陸新幹線金沢開業をはじめとした陸・海・空の交流基盤の整備により、観光客は大幅に増加し、金沢港のコンテナ取扱量についても年々増加するなど、人やものの交流が大きく拡大しました。

今後も開業効果を持続・発展させるため、本県の魅力である豊かな観光資源を磨くとともに、さらなる交流基盤の整備により、人やものの交流が盛んな地域づくりを進めていくこととしております。

また、東日本大震災やゲリラ豪雨など、近年日本各地で多発している大規模災害から県民の安全・安心を確保するため、防災・減災基盤の充実強化に取り組むこととしております。

4. 公共事業の品質と担い手の確保を図る取組み

しかしながら、社会資本の整備や県民生活の安全・安心の確保に重要な役割を果たしている建設業では、本格的な人口減少時代を迎え、技術者の不足や高齢化の進行により、担い手の確保が大きな課題となっております。

こうした中、ICTの活用により建設機械が設計

どおりに自動施工する技術の開発が進められており、本県発祥の建設機械メーカーであるコマツにおいては、昨年、世界初となる自動制御のICT油圧ショベルを開発しました。

本県では、本年7月、コマツと協定を結び、都道府県発注の公共工事としては全国で初めて、ICTを活用した建設機械を導入することとしました。

これにより、建設業においては、熟練労働者の技術に依存することなく経験が浅い作業員でも正確な施工が可能となることから人材不足の解消につながり、建設工事においては、工期の短縮や安定した品質の確保、さらなる安全性の向上が期待されます。

5. おわりに

本県では、今後、その成果を踏まえ、交流基盤の整備に利活用することにより、さらなる交流人口の拡大につなげてまいります。そして、豊かな文化の土壌や自然環境をはじめとする石川の個性とも言うべき多くの財産により一層磨きをかけ、石川の魅力を高めていきたいと考えております。